

危険物新聞

第 696 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会
編集人 三好治雄
発行人

大阪市西区新町1丁目5番7号
四ツ橋ビル
TEL 06(6531) 9717・5910
定価 1部 100円

東北へのボランティア ～その1～

(副)大阪府危険物安全協会
専任講師 東野郁夫

3月11日、午後3時前に発生しました東北地方太平洋沖地震は、地震及び津波の被害や原子力発電所の放射能汚染の問題など、様々な形で、また、広範囲にわたってその爪痕を残しています。

私は、何かしなければという思いでボランティアを思いつき、震災後の8月2日から8月8日まで間、個人ボランティアとして宮城県内において自転車の修理をメインに活動を行いました。その体験談を数回にわたって掲載しようと思います。

なお、東北地方太平洋沖地震における被害につきましては、消防庁をはじめ各関係機関より様々な報告がなされていますので詳細については割愛させていただきます。

東北の皆様方に少しでも貢献(自転車の修理等)し

ようと思い、8月2日から1週間の日程で大阪から夜行バスに乗り14時間かかって仙台駅近辺に到着しました。仙台駅やその周辺では七夕まつりの飾り付けがなされ、約5ヶ月前に東日本大震災があったと思えないような活気があった。

仙台到着後、多賀城市に入って事業所へ出向き、地震発生後(特に津波襲来まで約1時間)において、「工場トップ(防災管理者)が、この未曾有の危機に対してどのように判断したか」等について素晴らしい意見交換会の場を設けて頂き、機会があればこの紙面を借りて掲載したいと思う。

早朝、多賀城駅から石巻方面に向かうため、仙石線に乗車して暫くすると風景が一変して被災した状態の街なみが続いた。途中の松島海岸駅から矢本駅間は不通のためにバスの代行輸送をされていたが、矢本駅まで徒歩で行くこととし、途中で自宅の修理や清掃しておられる方々への自転車修理や貴重な体験、給油取扱所の社員の体験等を収集した。

写真は東名駅の被災後(8月4日撮影)



鋼製地下タンクFRP内面ライニング施工事業

鋼製地下タンク内面の腐食、防食措置としてFRPライニングの技術が実用化されてきています。当社では、FRPの持つ高度な耐食性に着眼し、使用される環境に応じて、最適な材料設計と構造設計を行います。皆様のお使いになる設備の長寿、安全化に貢献し、その加工技術は多方面から高い評価を受けています。老朽化に伴った腐食、劣化が進み、危険物の漏えいによる土壌及び地下水の汚染等の被害を未然に防ぐ為にお薦めします。

※仮設タンク常備の為、ボイラーを止めずに工事を行えます。

事業者認定番号 ライニング第 2701 号
有限会社 三 協 商 事

その他、危険物施設施工工事・危険物施設法定点検・危険物貯蔵所等中和洗浄工事及び廃止工事・産業廃棄物収集運搬業



大阪府大阪市港区弁天6丁目5番40号
TEL 06-6577-9501 FAX 06-6572-8058
<http://www.e-sankyoshoji.co.jp>

野蒜駅に近い給油取扱所(8月4日撮影)であるが、事務所、整備室、計量機、通気管等は津波で破壊されており、辛うじて防火塀、キャノピー等が残っているものの直ちに再開できる状況にはない。



また、津波の高さは、事務所に表示しているENEOSの文字より高い位置に津波跡の汚れ、キャノピーの支柱に付着している汚れ等から約3mの津波が押し寄せたと思う。

矢本駅周辺で営業されていた給油取扱所の従業員の方に当時の状況を聞くと

- ・揺れがひどく座り込んだ。
- ・停電でテレビが映らなかったので車のカーナビのテレビで津波を知った。
- ・携帯電話が繋がらず、家族のことが心配となり店長の指示で店を閉めて家族のところへ車で向かった・・・。

とのことであった。



矢本消防署鳴瀬出張所も津波によって大破していた。(8月4日撮影)

大阪府では、従来想定高さの2倍の6mの津波を暫定的に想定して、その対策の準備を進めている。危険物を大量に保有しているコンビナート等の事業所

において、大津波が発生した場合における人命を最優先にした避難対策等を各社毎だけではなく、近隣会社も含めた相互協力体制のもと、協力会社を含むすべての従業員の避難のあり方等について早急に検討し実践的訓練を行うことが、防災管理者等の直面する使命と思う。

(続く)

安全研修会開催案内

(財)大阪府危険物安全協会及び大阪市危険物安全協会共催で、下記のとおり安全研修会を開催する予定です。

記

- ◇とき 平成24年2月24日(金) 14時～16時
- ◇ところ KKR HOTEL OSAKA 3階「銀河」
- ◇演題・講師 「東日本大震災における危険物施設の被害状況について」
-石油タンクの被害を中心に-
総務省 消防庁 消防大学校
消防研究センター
研究統括官 山田 實 氏

プロフィール



研究分野

石油タンクや地下タンクを主とする危険物施設の安全性(腐蝕、強度、非破壊検査等)に関する研究
消防防災資機材の強度に関する研究

略歴

- 昭和58年 自治省消防庁消防研究所入所
- 平成18年 総務省消防庁消防大学校 消防研究センター 技術研究部長
- 平成23年 総務省消防庁消防大学校 消防研究センター 研究統括官
現在に至る

なお、参加ご希望の方は、地区協会又は下記までご連絡ください。

〒550-0013

大阪市西区新町1-5-7 四ツ橋ビル8F

共催 財団法人 大阪府危険物安全協会

大阪市危険物安全協会

電話 06-6531-9717

6531-5910

消防マスコットキャラクター 「消し玉くん」のデビューに貢献

泉佐野市火災予防協会
会長 高木 茂

泉佐野市火災予防協会では、消防マスコットキャラクター「消し玉くん」を11月12日(土)に実施した防火パレードでデビューさせました。

泉佐野市火災予防協会は、昭和24年に発足し、これまで地域の自主防災の充実強化を目的に、本年度第35回を迎えた屋内消火栓操法競技大会をはじめ消防音楽隊演奏会の主催など各種の事業に積極的に取り組んでいるもので、今回のマスコットキャラクターの製作は、平成23年度の協会主要事業として行ったものです。



消防マスコットキャラクター 消し玉くん
(泉州特産の玉ねぎをイメージ)

製作に至る経過については、8月に市民等からデザインを公募し、約30点の中から審査委員会(委員長中藤辰洋 泉佐野市教育長他9委員)により泉州特産の玉ねぎをイメージし、最優秀賞に選ばれた市内在住の女性の作品を「ゆるキャラ」の着ぐるみとして製作したものです。

初仕事となった防火パレードでは、消し玉くんが可愛い子供たちに愛嬌ある動きで喜ばせるなど、制服の威圧感から一歩前進した接点のある「火の用心」の呼びかけができました。

第5回 危険物取扱者試験 平成24年 2月19日(日) 国立大阪大学で

大阪府下では平成23年度第5回危険物取扱者試験が下記のとおり行なわれます。

インターネットによる申請受付も可能となり、今年度より願書様式が変更となりましたので注意してください。

試験日	平成24年2月19日(日) ・乙種第4類(午前・午後) ・甲種、第4類以外の乙種、丙種(午後)
試験会場	国立大阪大学(豊中市内)
願書受付	郵送又は持込 平成24年1月12日(木)～1月19日(木) ※持参する場合は9時30分～16時30分まで 電子申請(インターネット申請) 上記書面受付日の初日の3日前の9時から、最終日の3日前の17時までとなっています。 また、電子申請(インターネット申請)では手続きできない場合もありますので、詳細については下記ホームページを参照してください。 (http://www.shoubo-shiken.or.jp)
問合せ先 願書提出先	(財)消防試験研究センター 大阪府支部 大阪市中央区谷町2-9-3 ガレリア大手前ビル2階 TEL 06-6941-8430

注 受験資格について

- 甲種：① 高専・短大及び大学で化学に関する学科又は課程を卒業した者
② 高専・短大及び大学で化学の授業科目を15単位以上取得した者
③ 乙種免状交付後、2年以上の危険物取り扱いの実務経験者
④ 次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている者
- ・第1類又は第6類 ・第2類又は第4類
・第3類 ・第5類

乙種：受験資格の制限はありません。

丙種：受験資格の制限はありません。

合格への近道!

～第5回準備講習の開催について～

当協会では平成24年2月19日(日)に国立大阪大学(豊中市)で行われる平成23年度第5回危険物取扱者試験に合わせて甲種、乙種第4類及び丙種の受験準備講習会を行います。

準備講習会では、経験豊富な講師陣による的確で分かりやすい講習を行っています。

当協会では上記の試験に合わせて甲種、乙種第4類及び丙種の受験準備講習会を大阪・堺各市内で下記のとおり行なう予定です。

お申し込みは郵送(郵便払込)又はインターネット(銀行振込)で

1. 受講申込方法

① 郵送によりお申込みされる場合

- a 受講申込書「合格への近道!」を、大阪府下の各消防本部及び各消防署予防課で取得の上、手続きしてください。
- b 当協会(電話06-6531-9717)に直接ご請求いただければ送付いたします。

② 持込みでお申込みされる場合

- a ご希望の講習日(各コースの初日)の前日まで当協会事務所(大阪市西区新町1-5-7、四ツ橋ビル8F)で受付いたします。
(ただし、土・日及び祝日は業務を行っておりません。)
- b 申込手続は代理の方でも結構です。

2. 申込期間

- ① 常時受付しています。
ただし、郵送の場合は、ご希望の講習日(各コースの初日)の1週間前までに当協会必着でお願いします。
- ② 各講習会場とも定員制のため、満席の場合は受付できませんのでお早めにお申込みください。

平成23年度 第5回受験準備講習日程表

種 別	講 習 日	時 間	会 場
甲 種	2月3日(金)、2月7日(火)、2月9日(木)	10時～16時30分	大阪府商工会館
乙 種 第 4 類	1 コース	2月2日(木)、2月3日(金)	天満研修センター
	2 コース	2月6日(月)、2月7日(火)	大阪府商工会館
	3 コース	1月30日(月)、1月31日(火)	堺市民会館
	土曜コース	2月4日(土)、2月11日(土)	天満研修センター
	日曜コース	2月5日(日)、2月12日(日)	天満研修センター
	土日Aコース	2月4日(土)、2月5日(日)	天満研修センター
	土日Bコース	2月11日(土)、2月12日(日)	天満研修センター
丙 種	2月13日(月)	9時30分～16時30分	四ツ橋ビル

高精度油面計装置 (EECO)



(財)全国危険物安全協会
認定番号12・13号

- 装置の特徴：
- 1. 常時監視設備装置
 - 2. ネット残油量表示(15℃)
 - 3. 自動水検知量表示
 - 4. ローリー荷卸自動検知
 - 5. 販売出荷レポート
 - 6. パソコン管理システム

常時監視装置は常に地下タンクの漏れの監視を行い、土壤汚染を未然に防止します。

業務内容

地下タンク漏洩点検、地下タンク埋設工事、地下タンク内清掃、ガソリン計量機の検定・整備・販売、給油機・メーター・ノズル機器等の販売
危険物施設の油配管設備工事、危険物の保安点検・各種の巡回清掃
危険物の各種消防手続、給油所の機器販売、地下タンク計測機器販売
* 地下タンク点検の液相部・気相部の漏洩点検装置も販売しております。

ISO 9001 取得
http://www.nssk.co.jp/

日本スタンドサービス株式会社
〒578-0911 本社/大阪府東大阪市中新開2-11-17
TEL：0729-68-2211 FAX：0729-68-3900

3. 受講料及びテキスト送料

① 受講料 (消費税を含んでいます。)

受講料にテキスト送料を加えて払込んでください。

・甲種	会 員	会 員 外
	16,800円	18,900円

・乙種 第4類	コース別	会 員	会 員 外
	1~6コース	12,600円	14,700円
	土曜・日曜 土日コース	13,650円	15,750円

・丙種	会 員	会 員 外
	6,300円	7,350円

- (注) 1 財団法人大阪府危険物安全協会加盟協会会員 (会員事業所の社員を含む) は会員価格となります。
- 2 大学、高校及び各種専門学校 の学生については学生割引として受講料は会員価格にいたします。
 ・学生証のコピーを受講申込書に添付して送付してください。
 ・持込受付される場合は、申込時に学生証 (コピー可) を提示してください。
- 3 詳細につきましては、06-6531-9717までお問合せください。
- 4 申込終了後、理由の如何を問わず返金はいたしません。

② テキスト送料

下記の料金は、1ヶ所にまとめてお送りする送料です。

甲種及び 乙種第4類	1人分	500円
	2~5人分	600円
	6~10人分	800円

丙種	1~6人分	500円
----	-------	------

受験参考図書のご案内

今年度より、より多くの受験者に合格していただくため、講習会で使用している当協会作成のオリジナルテキスト類も販売いたします。

当協会作成オリジナルテキスト

- ① 乙種4類物理化学 1,100円
- ② 甲種危険物取扱者試験例題集 1,100円
- ③ 丙種テキスト 1,100円

財団法人 全国危険物安全協会発行

- ④ 危険物取扱必携 (法令編) 1,300円
- ⑤ 危険物取扱必携 (実務編) 1,300円
- ⑥ 甲種・危険物取扱者試験例題集 1,200円
- ⑦ 乙種第4類・危険物取扱者試験例題集 1,400円
- ⑧ 乙種第1.2.3.5.6類危険物取扱者試験例題集 1,100円
- ⑨ 丙種・危険物取扱者試験例題集 1,000円

危険物取扱者試験受験者の自習用テキストの販売は下記の場所で行なっております。

〒550-0013
 大阪市西区新町1-5-7 四ツ橋ビル8F
 (財)大阪府危険物安全協会
 電話 06-6531-5910
 6531-9717
 FAX 06-6531-1293

都市との共存 — 正確 安全 確実 —
 危険物設備なら信頼の技研。

危険物タンクの漏洩検査
〈平成16年4月1日法改正対応〉

- 危険物設備の設計・施工
- 発電設備 (非常用) 燃料タンクの製造・販売
- 危険物タンクまわりの付属機器の販売

危険物設備の安全をトータルにリードする

株式会社 技研

〒663-8113 兵庫県西宮市甲子園口2-24-12 TEL.0798-65-5100 (代表)

GIKEN

第4期 保安講習(法定)

受付は平成24年1月13日(金)より

標記の通り、平成23年度第4期危険物取扱者保安講習(平成24年1月24日～2月10日、6会場)の郵送受付が1月13日(金)から始まります。

なお、平成23年度の保安講習はこの第4期をもって終了し、平成24年度の保安講習は、平成24年5月中旬には予定が公表され、講習は6月下旬より開始の予定です。

第4期 受付期間

郵送受付 平成24年1月13日(金)より開始
持込受付 平成24年1月16日(月)と17日(火)

講習日程

回	実施日	曜日	講習会場	開始時間
56	1月24日	火	守口門真商工会館	13:30
57	2月1日	水	大阪府商工会館	13:30
58	2月2日	木	*堺市民会館	13:30
59	2月6日	月	豊中市消防本部	13:30
60	2月7日	火	八尾市消防本部	13:30
61	2月10日	金	大阪府商工会館	13:30

- 注1. 諸般の事情により変更となることがあります。
2. 業種区分は、すべて「一般の部」です。
3. 各会場とも駐車場は使用できません。
ただし、会場欄中*印は有料駐車場があります。

4. 講習時間は法令等で定められた3時間です。

危険物取扱者保安講習とは

この講習会は、消防法第13条の23に定められた法定講習です。

事業所等で危険物取扱者の免状をお持ちの方が、危険物の取扱作業に従事している場合は、定められた期間内(原則として3年以内ごと)に保安講習を受講しなければなりません。

受講申請書について

平成23年度の保安講習開催案内(受講申請書など)は府下消防本部及び各消防署(予防課又は予防係)に置いてあります。

受講手数料は4,700円です。

また、インターネットの当協会HPで申請書をプリントすることもできます。

注意事項等

- 各講習会場共に定員制です。ご希望の講習会場が定員に達するまでは、第1希望で決定し、定員に達した場合は、第2希望の会場に振替し、受講票をお送りします。
- 受講票(決定通知)と、免状を持って受講してください。なお、テキストは会場でお渡しします。
- 講習終了後、免状に受講済の大阪府知事証印を押印してお渡しします。

【問い合わせ先】

〒550-0013 大阪市西区新町1-5-7(四ツ橋8階)
財団法人 大阪府危険物安全協会
電話 06-6538-1935

セルフSS 夜間業務はお任せ!!

大阪府下に十数店舗 5年の実績

危険物乙種4類有資格者警備員がセルフSSの夜間監視業務を!
当社パトロールカーによる店舗巡回(巡回のみの契約もOK)!

メリット

- 制服警備員による夜間犯罪抑止
- 制服警備員による場内巡回
- 経費のコストダウン
- シフトローテーションの簡素化

急な人手不足を補う1日だけでも対応
当社は従業員に年2回以上の専門教育を実施

有限会社 ササキセキュリティー

入出門管理、宿直業務等の一般警備も行っています

大阪府豊中市南桜塚1丁目2番1-303号
TEL 06-6840-6001 FAX 06-6840-6002

大阪府公安委員会認定 No.62001596



安全への道124

原発の過酷事故

(財)大阪府危険物安全協会
専任講師 三村和男

東日本大震災の復旧、復興に多くの課題を抱えたまま、今年もあと僅かを残すのみ。津波、原発事故で不安な生活が続く多くの被災者に心が痛む。

原発過酷事故は、関係者の必死の対応によって、原子炉は冷温停止状態が維持されている。しかし、放射性物質による汚染した土壌の処分については、未だ目途がたたない状態である。

なぜ過酷事故を想定できなかったのか。あえて、想定することを避けてきたのか。原発事故の重大性は1979年のスリーマイル島原発事故、1986年チェルノブイリ原発事故で認識しえた筈である。

米国では、スリーマイル島原発事故後の1981～82年、国立研究所で、福島第一原発と同型の原発をモデルとして、全電源が喪失した場合のシュミレーションが行われている。その考え方は、外部からの交流電源と非常用ディーゼル発電機が喪失し、非常用バッテリーが作動することを前提とし、バッテリーの能力(持ち時間)、緊急時の冷却系統の稼働状況などいくつかのケースについて計算されている。

その結果の一例であるが、バッテリーが4時間使用可能な場合、停電開始後5時間で「燃料が露出」、5時間半後に「燃料が480度に達し、水素発生」、6時間後に「燃料の熔融(メルトダウン)開始」、7時間後に「原子炉下部が損傷」、8時間半後に「格納容器損傷」。

福島原発の場合もバッテリーだけになった時点からは、シュミレーションとほぼ同じ状態になったと報道されている。(3月30日付、朝日新聞)

米国では、シュミレーションの結果が安全規制の強化に活かされている。

日本では、同様のシュミレーションが実施されたか否かは分からない。勝手な想像だが、実施されてい

たとしても、全電源喪失は起こり得ないとの考え方が優先し、その結果は活かされなかったのだろう。

もしも、この結果を踏えて、非常用電源設備の津波対策を見直し、強化していれば今回の過酷事故は回避できていたかも知れない。

ただし、いま一つ懸念がある。というのは、非常電源設備の耐震性である。つまり、同電源設備は津波が来るまでに地震で破損していたという情報もある。この点については、放射能の影響で、現場調査が十分にできているかどうかである。今後、原子炉(周辺配管設備含め)および非常電源設備、排水系の耐震性についての検証が重要である。

去る2日、東京電力の社内事故調査中間報告書および社外有識者による事故調査検証委員会の見解が同時に公表された。

社内の中間報告書では、「法令や国の指導に基づいて安全対策を施し、過酷事故に備えたが、想定を超える津波に襲われて事故が起きた」と結論づけている。

一方、社外検証委員会は、全電源喪失事故を想定しなかったことについては、結果として想定不十分あり、津波対策をより真剣に考えておくべきだった。国、専門家を含めて大きな反省が必要だ、と述べている。

日本は、原発55基を有する原発大国である。それに相応しい責務を果さねばならない。そのためには、事故の調査、検証を徹底的に行って、その結果を世界に発信していかなければならない。

今、日本の原発の安全が問われている。安易な想定外だったでは理解されないだろう。

危険物施設についても、原発過酷事故の負の教訓を学ばねばならない。各企業とも巨大地震・津波に対する関心は高まってきている。東南海・南海地震の津波は従来の想定2倍、それを超える、という。着実により安全化を図り続ける努力が必要。トップがいかに本気になるかである。



ヒイラギ
花言葉：用心深さ

第11回

危険物事故防止対策論文募集

消防庁の統計によると平成22年中の危険物施設における火災・流出事故発生件数は536件で、前年に比べて14件の増加となりました。事故発生件数は近年高い水準で推移しており、平成元年以降で最も事故が少なかった平成6年と比べると、事故発生件数は2倍弱に増加しています。このため、今後も事故防止対策に取り組んでいく必要があります。

このような状況をふまえ、安全で快適は社会づくりに向けて、危険物に係る事故の防止に関する論文を募集します。

危険物の事故防止に関するものであれば、
どなたでも応募できます！



目的

安全で快適な社会づくりに向けて、危険物の製造、貯蔵、輸送、取扱いに係る事故防止を図ることを目的として、広く論文を募集します。

テーマ

危険物に係る事故防止に関するもので、次のようなもの

- ① 提言・アイデア・経験等
- ② 事故防止に係わる知見の蓄積・教育方法
- ③ 職場等の安全対策
- ④ 危険性評価手法
- ⑤ 事故の拡大防止
- ⑥ 危険物、少量危険物及び指定可燃物に係わる安全
- ⑦ 事故の分析
- ⑧ 安全の科学技術
- ⑨ 安全対策技術
- ⑩ 事故防止対策に関するその他のもの

応募資格

特に制限はありません。どなたでも応募できます。

応募締切

平成24年1月31日（火）必着

選考方法

学識経験者、関係行政機関の職員等による審査委員会において、厳正な審査を行います。

賞

消防庁長官賞

賞状及び副賞（20万円）〈2編以内〉

危険物保安技術協会理事長賞

賞状及び副賞（10万円）〈2編以内〉

奨励賞

賞状及び副賞（記念品）〈若干名〉

※副賞は危険物保安技術協会からお渡しいたします。

受賞された場合はご本人に連絡するとともに、消防庁のホームページ（<http://www.fdma.go.jp/>）及び危険物保安技術協会のホームページ（<http://www.khk-syoubou.or.jp/>）並びに機関誌「Safety&Tomorrow」に発表いたします。

応募方法

- ① 論文は、未発表のものに限ります。ただし、限られた団体、組織内等で発表された場合は応募可能とします。（一部に限り、既発表の部分を使用する場合は、その旨を本文中に明記してください。）
- ② A4（字数換算：1ページあたり40字×40行程度）1枚以上10枚以内程度としてください。なお、図表及び写真は、文中への挿入、本文と別に添付のいずれも可能です。ただし、本文と別に添付する場合に、字数換算をA4（1ページあたり1,600字程度）で行い、全体を10枚相当分以内程度としてください。
- ③ 論文は、返却いたしません。また、受賞論文は、危険物保安技術協会の機関誌とホームページに掲載します。
- ④ 論文の概要を添付してください。
- ⑤ 論文は「論文タイトル」、「氏名（ふりがな）」、「連絡先（住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）」及び受賞論文発表時に明記する勤務先等がある場合の「勤務先名称及び所属」を記載した用紙を添付のうえ次のあて先（E-mail可）までお送りください。

あて先及びお問い合わせ先

危険物保安技術協会 事故防止調査研修センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 神谷町セントラルプレイス

Tel 03-3436-2356 Fax 03-3436-2251 ホームページ <http://www.khk-syoubou.or.jp/>

主催：消防庁／危険物保安技術協会

協賛：全国消防長会／社団法人日本損害保険協会／石油連盟／石油化学工業協会／一般社団法人日本化学工業協会、電気事業連合会／一般社団法人日本鉄鋼連盟／社団法人日本火災学会／全国石油商業組合連合会（順不同）